※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰ・Ⅱで学習した「歌唱・合唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を更に深めます。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートの内容、演奏実技テスト、個人やグループで取り組むアンサンブル課題やレポートにより評価します。
・授業では、個人の活動に加えてアンサンブルによる活動も重要視し、音楽の学習を通して協調性を育み、音を通して人と繋がることから得られるものや共に音楽をつくりあげる喜びを大切にしながら学習してほしいと考えています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。【知識】 ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽､創作で表している。【技能】	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら､個性豊かに音楽表現を創意工夫したり､音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。	主体的･協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歌詞と音楽の諸要素との関わりから見える歌の世界	【歌唱】【器楽】 ◆声のウォーミングアップ曲 ・発声のエチュード ・Progress　等 ◆言葉と音楽の諸要素とを生かした表現を味わう ・ロマンチストの豚 ・初恋　等 ◆ピアノで弾き語ろう （ピアノ弾き歌い） ・子どもの歌より ◆合唱～モノフォニーからポリフォニー～ ・カノン ・2部～4部合唱に挑戦 ◆器楽合奏 ・リコーダーアンサンブル	a:【知】曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱・器楽表現の固有性や多様性、歌や器楽、またその演奏と生活や社会との関わりについて理解している。 【技】創意工夫や表現上の効果を生かした演奏表現をするために必要な技能を身につけている。 b:演奏表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができる。 c:独唱やカノンによる二部合唱、混声四部合唱、弾き歌い、合奏など音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏聴取 発表	ワークシート 演奏聴取 発表	演奏聴取 発表 ワークシート 振り返りレポート
	鑑賞で音楽に対する理解を更に深めよう	【鑑賞】 ・ミュージカル「ウェストサイド物語」 ・新世紀パリオペラ座 ・クラシック音楽	a:【知】音楽の美しさと音楽のとの関わり、文化的・歴史的背景や他の芸術・文化との関わり、現代の諸外国の音楽の特徴、音楽と人間との関わり及び社会における音楽に関わる人々の役割について理解している。 b:ミュージカル作品についての知識を総合的に働かせながら、曲や演奏に対する評価と根拠、文化や芸術としての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができる。 c:ミュージカル作品の特徴、音楽の意味や価値、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート 観察	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	創作を楽しもう	【創作・編曲】 ◆ループミュージックを中心とした音楽作品を創作し、音源を作成する。 （後期も継続）	a:【知】 様々な音素材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】 創意工夫や表現上の効果を生かした創作表現をするために必要な技能を身につけている。 b:創作表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに創作表現を創意工夫している。 c:自己のイメージをもって、粘り強く創作表現を創意工夫しようと取り組み、音型やリズムなどの特徴とテーマやイメージとの関連性に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察 編曲作品 演奏聴取 発表	ワークシート 観察 編曲作品 演奏聴取 発表	観察 発表 振り返りレポート
後期	自由課題での表現	【器楽】【創作】 楽曲及び楽器は自分たちで選択する	a:【知】曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱・器楽表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫や表現上の効果を生かした演奏表現をするために必要な技能を身につけている。 b:演奏表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに演奏表現を創意工夫することができる。 c:アンサンブルによる演奏表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的にアンサンブルの学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 ワークシート 演奏聴取	観察 演奏聴取 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

	自分たちで企画して自由曲発表会を開催しよう	【歌唱】 【器楽】 【創作】 グループによるアンサンブル発表会と、その企画運営に挑戦しよう ・音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことをふまえ、グループで選択した楽曲を編成に応じてアレンジし、発表 ・音楽発表会の企画・開催	a:【知】音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学習を通して、表現の「知識」に関する諸事項について、また、発表会の運営について理解している。 【技】音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学習を通して、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。他者と協力し、発表会を企画・運営することができる。 b:演奏表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに演奏表現を創意工夫することができる。発表会を運営するための工夫やアイデアを提案し、臨機応変に判断して行動することができる。 c:音楽を形作る要素を自己のイメージを表現するためにどう関連付けるか、またグループで表現するために必要な他者との調和や表現形態の特徴を生かした演奏や発表会の運営などに関心をもち、主体的・協働的に歌唱・器楽・創作等の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 発表 演奏聴取	観察 ワークシート 発表 演奏聴取	観察 発表 演奏聴取 振り返りレポート

＊曲目や教材は生徒の実態に合わせて変更することがあります。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度